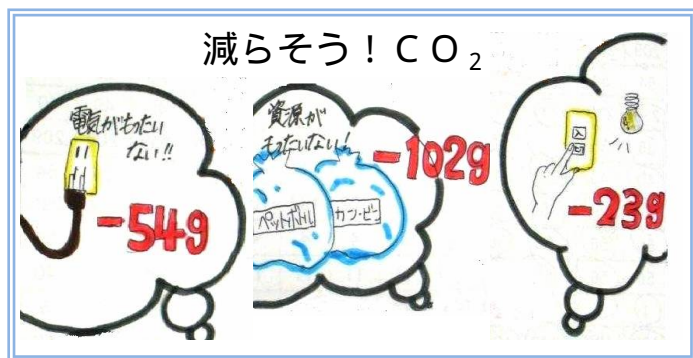


エコライフDAY 2011 報告書

～ 地球環境を考えた1日を過ごし、みんなで二酸化炭素を減らしました ～

第12回 実施日 2011年6月12日(日)



参加者数
80,743人

続けよう! エコライフ

「きょう」減らせた二酸化炭素
58,543kg

環境のことを考えて
6/12
ストップごうおんか
エコライフのAV2011
いつもより、どれくらい二酸化炭素をへらせるかな

項目	自分		おうちの人		おうちの人		おうちの人		おうちの人	
	いつも	きょう	いつも	きょう	いつも	きょう	いつも	きょう	いつも	きょう
電気・ガス	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23
食	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40
	209	209	209	209	209	209	209	209	209	209
しげん	54	54	54	54	54	54	54	54	54	54
	230	230	230	230	230	230	230	230	230	230
水	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35
	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40
車	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
	56	56	56	56	56	56	56	56	56	56
合計		328	328	328	328	328	328	328	328	328

① 減らせた二酸化炭素の量(A-B)は...
② 減らせた二酸化炭素の量(A-B)は...
③ 減らせた二酸化炭素の量(A-B)は...
④ 減らせた二酸化炭素の量(A-B)は...

「いつも」より多く
減らせた二酸化炭素量
5,778kg
杉の木 415本分 (*1)

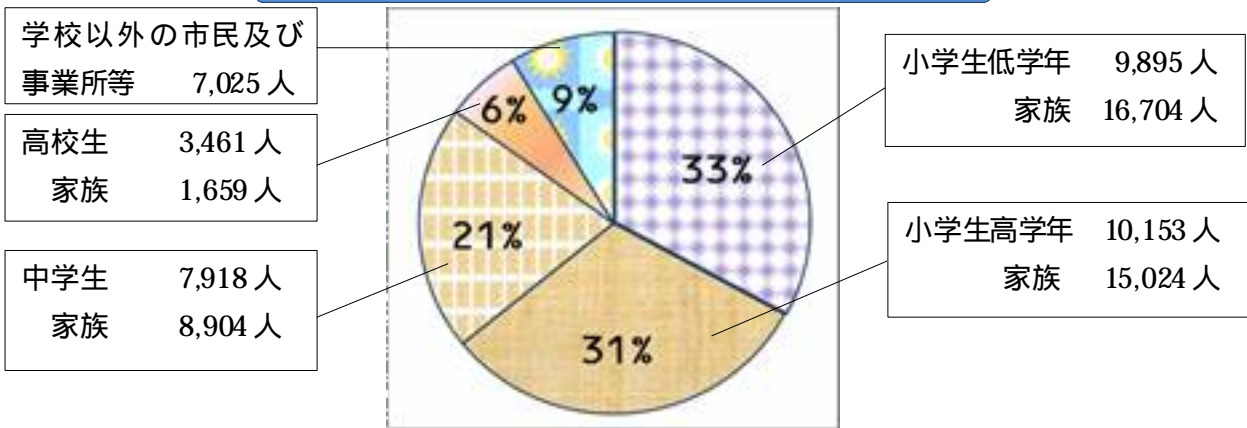
エコライフ DAY について

エコライフDAYとは、「年に1日、みんなで地球高温化(*2)防止にチャレンジしよう」という日のことです。2000年に、私たちNPO法人川口市民環境会議がこの取り組みを始め、今年で12年目になります。6月の第2日曜日をエコライフDAYと定め、川口市・川口市教育委員会とNPO法人川口市民環境会議が共催事業として実施しています。エコライフDAYの日には、「エコライフDAYチェックシート」(=1日版環境家計簿)を使って、1日環境のことを考えた生活をします。その後、チェックシートを回収して集計、成果を二酸化炭素の削減量としてまとめ、発表しています。川口で始まったこの取り組みは、埼玉県内をはじめ全国各地に広がっています。目的は、多くの人が地球高温化問題に関心を持ち、その防止のために行動をするきっかけづくりであり、“1日の取り組み”“行動をすること”“削減効果の視覚化”などが大きな特徴となっています。

*1 直径26cm高さ22mの50年経った杉の木が、1年間に吸収する二酸化炭素量で換算しました
*2 川口市では、「温暖化」という言葉は過ごしやすイメージがあることから、「高温化」へ名称を変更しています。
*上記イラスト：川口市立西中学校3年生

参加者内訳

80,743 人 参加者内訳



がんばって取り組んだ学校 学校全体参加率 69.5%

小学校	中学校	高校
47校 全体 75.0%	24校 全体 66.2%	8校 全体 53.1%
1. 上青木南小 100.0 (%) 518(人)	1. 芝西中 96.8(%) 210(人)	1. 県立川口工業高 91.1(%) 461(人)
1. 芝東小 100.0 73	2. 幸並中 91.5 455	2. 県立川口北高 79.0 797
3. 根岸小 98.5 588	3. 神根中 90.6 518	3. 市立県陽高(全日) 61.3 294
4. 戸塚南小 96.0 816	4. 榛松中 89.0 348	4. 県立川口東高 60.3 510
5. 舟戸小 95.2 496	4. 小谷場中 89.0 129	5. 市立川口総合高 55.9 471
6. 青木中央小 94.8 960	6. 元郷中 87.8 345	
7. 朝日西小 91.2 250		
8. 芝富士小 90.3 251		
9. 幸町小 89.3 351		
10. 本町小 87.3 819		

学校の取り組み (アンケートから)

授業・校内でのエコ活動 先生からのコメント

- 〔授業〕生活科：ビオトープの生き物観察や野菜作りを行っている。
- 社会科：不要品のリサイクル及び再利用などについて扱った。
- 家庭科：調理実習の際、汚れたものは拭き取ってから、水は少量で、洗剤は少量で。
- 図画工作：空き容器、箱などをとっておき、材料として利用。
- 道徳：「MOTTAINAI」を題材に取り上げた。
- 総合：これから身近な環境問題に取り組むので、エコライフデーをその前段階として利用。

〔エコ活動〕

- ・給食完食に取り組んでいる。食べられるだけよそわせる（給食マナー）。
- ・給食委員会児童により生ゴミ処理機で残菜処理。
- ・校内の使わない教室の電気をこまめに消す。
- ・黒板クリーナーの待機電力を使わないようにプラグを抜く。
- ・ゴーヤで緑のカーテンを作って涼しくする。
- ・学校全体でクリーン作戦として地域のゴミ拾いを行い、空き缶やペットボトルを資源ゴミに分別している。
- ・雑巾をすすぐとき、バケツに水をためて使う。
- ・牛乳パックと紙類の回収、資源化。
- ・マイバックを児童の3分の2が使っている。



6月の環境月間・エコライフ DAYには、市内のあちこちの企業・事業所などで様々な環境への取り組みが行われました。川口市民環境会議では、アンケートや電話などで節電やその他の環境への取り組みの様子をお聞きしました。

イトーヨーカドー ザ・プライス川口店では
エコライフ DAY 参加呼びかけのポスターを掲示していただき、チェックシートの配布と回収箱を設置していただきました。

節電では、4月分の電気使用量は前年同月に比べ 76%の削減でした。

店内の冷房は外気送風で、外気が29度以上のみ時間を区切って冷房運転、または設定温度 27.5 度です。照明関係は屋上広告塔の消灯、店内蛍光灯やスポットの間引きや消灯を行っています。

また、5月下旬から全館の蛍光灯照明を LED 照明に交換することでさらに 40%の電力削減に努めているとのことでした。

ヤオコー川口朝日店では

エコライフ DAY 参加呼びかけのポスターを掲示していただき、チェックシートの配布と回収箱の設置をしていただきました。

節電対策として、空調機、冷ケースの清掃（特にフィルターの清掃）、電気設備の細かな切りりの作業、使わない電気は OFF にして店舗として 15%以上の削減目標を立て実施されています。

マルエツでは

川口市内全9店で協力していただきました。全店では環境月間中、レジ袋辞退運動に力を入れていました。いつもと違う取り組みでは、1050円以上買い上げてレジ袋を辞退された方に2円のキャッシュバックと、加えて東日本緑化基金に同額の2円を寄付されています。

6月の寄付金の総額は371万円になったそうです。

イオン川口店では

店頭で、アクリルたわしづくりや、ワットアワーマーター*を用いて待機電力を測定しました。

毎月11日に「イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン」を発行し、応援したい団体に投票する社会還元システムを実施しており、レシートの合計金額の1%に相当する品物を寄付しています。今年も、当NPOにいただいた寄付の中から、エコライフ DAY 参加者に抽選で文房具をプレゼントしました。（イオン川口前川店からもご協力いただきました。）



そごう川口店では

玄関には大きなグリーンカーテンが育っています。

エコライフ DAY 当日には3Fエントランスで、チェックシートの参加呼びかけや、アクリルたわしづくり、ワットアワーマーターを用いて待機電力の測定などを行いました。特に、アクリルたわしづくりは子供にも大人にも大人気でした。

*ワットアワーマーター...電気製品につないで消費電力量を測定・表示します。1ヵ月当たりの電気料金も換算表示、二酸化炭素ガス排出量も表示できます。



ご協力ありがとうございました！！

続けよう！ みんなでエコライフ

節電！ひと工夫

- ・窓が1か所でも効率よく換気ができないので、暑くならないようUVシールを窓に貼ったり、扇風機で循環させたりしています。(一般)
- ・夜の暑い日は、保冷剤の大きい物をタオルにまいて頭や足に置いて寝ています。けっこう気持ちいいです。(一般)
- ・吸水ビーズ入りのスカーフが暑い日活躍しています。5～6時間は水を含んだままなので、家事をする時など扇風機で充分涼しいです。(一般)

東日本大震災に思う

- ・私は自分ができる限りの節電をしました。節電をしてみて、普段気軽に使ってしまった電力を減らせることが分かりました。また、福島第一原発の事故の映像を見て、普段使っている電気を作っているところに住んでいる人達はいつも危険と隣り合わせで毎日過ごしているんだなと感じ、なんだか胸が痛くなりました。これからは電気を必要な分だけ、大切にしていきたいです。(西中3年)
- ・社会全体がエコに前向きな姿勢になっていて、この地震の復興と同時にエコ大国日本の誕生が果たせれば、この地震の暗いところだけではなく、明るいところも次の世代に渡せるのかと思いました。これからもエコで被災地を応援していければいいなと思いました。(南中2年)
- ・地球温暖化をはじめとした環境問題は数年前から叫ばれていましたが、これまでは真剣に取り組んでいる人とそうでない人で非常に差があったように思います。それが今回の電力不足により、1人1人がエネルギーの使い方を考え、よりエコを意識する必要が生まれたのではないのでしょうか。...これからは「一人一人が環境について考えよう」といった抽象的なものだけでなく、モノや設備をより環境に配慮したものに変えていく時代に来ているのかなとも思いました。(一般)
- ・一時的に物がなくなった時、今までの使い方の乱雑さがよくわかり、計画停電の時の不便さと同時に最低必要な事は何かを感じ、考えることから「エコ」にもっと取り組まなければならないと思うようになりました。ただ、被災地の人たちや、原発の避難の人たちの事を思えば、まだまだ意識の低い私たちの生活を変えなければと思います。また、いろいろな問題はあるかと思いますが、やはり原発はなくしていくべきだと思います。それに代わる自然のエネルギーからの発電に代えていかなければ、「安心」は得られないと思います。チャレンジ・セイフティエコライフ！！です。(一般)

- ・クーラーをかけても古いためなかなか下がらないので、省エネタイプに買い替えてみたが、窓からの熱がすごいので窓ガラス自体を工夫しなければいけないのではないかと考えるようになった。(一般)
- ・ペットボトルの中に水を入れて冷凍室で凍らせたものを寝る時に携帯しておくとう扇風機やクーラーを点けなくてもすむ。(一般)
- ・ドライヤーを使う時、手にタオルの手袋をつけて乾かすと早く乾くので節電になります。(青木中1年)
- ・夏になるとゴーヤでグリーンカーテンをつくり、エアコンなどを使わなくても涼しいです。(南中2年)
- ・ペットボトルに水を入れ日向水で湯わかしガスを節約する。(一般)



南中1年

エコ商品の紹介

- ・芯を使わないホチキス: 芯を使わないので、環境に良いと思います。手が切れる心配もありません。(北中2年)
- ・冷却ジェルシート: この商品は冷蔵庫で冷やすなどしなくても冷たくなり、とても良いです。ソーラーパネル付きライト: 日光の光を集めて電気を付ける。(芝東中1年)
- ・マイエンザ: 特徴は、なんと家で作れる、にごりのある水の中には水質を浄化してくれる微生物がいる、きりふき等でかけるだけでトイレや風呂などの汚れ、臭いがおちることです。(戸塚西中1年)
- ・私は充電式の電池がお勧め。買いに行く手間が省ける上に、今回の震災のように電池が品切れになっても安心です。(青木中3年)
- ・ずっとしまっていたあったシャトルシェフ(真空保温調理鍋)を使用。(一般)

リサイクル

- ・いらないおもちゃはリサイクルショップに持って行った。(青木北小3年)
- ・詰め替え用シャンプーを使っている。(北中1年)
- ・小さくなった服を幼い子にあげています。(戸塚小1年)
- ・飲食店で割り箸じゃないのをつかっていること、ペットボトルの蓋集めやペットボトルを使って植物が作れること。



戸塚小6年

(総合高校1年)



戸塚綾瀬小6年

いつも持ってるマイバック・マイボトル

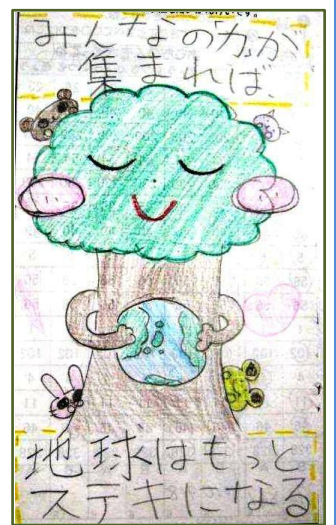
- ・マイバックを持って買い物に行くと、笑顔で店員さんが「ありがとうございます」と言ってくれました。(芝東中2年)
- ・袋は「しりません」と言っています。(北中1年)
- ・普段行っているのが、ごみの分別、エコバック、マイボトルです。(西中2年)
- ・スーパーの袋の有料化は、とてもいいと思います。導入しているところで袋を持っている人をあまり見たことがないのもっと増したほうがいいと思います。

ごみをへらそう!

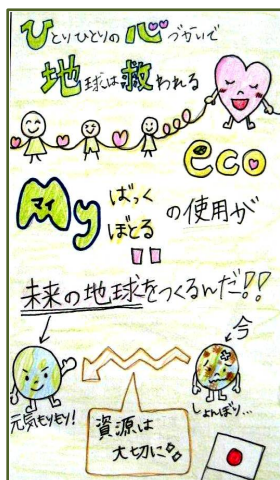
- ・牛乳パックを開いて肉を切るときのまな板にしている。(青木中2年)
- ・生ゴミが大変少なくなりました。スイカは皮をぬか漬けにする。野菜の皮はむかずにそのまま調理。茎はそのまま残し、水を張り一葉をさかせて一品。戦争を知らない私達世代がいかに無駄の多い生活、ヒシヒシと感じざるを得ません。この度の震災を目のあたりにし、物の大切さが感じられます。(一般)

大切な緑

- ・私は最近砂漠化が進んでいる国があると耳にしました。緑が少なくなるとCO₂が増えるという事です。しかし、テレビで「インドネシアでは結婚する時に地球にも愛のおすそ分けで木の苗を植える習慣がある」というのを見ました。こういう習慣があるのに驚き感心しました、「地球に愛をおすそ分け」なんてすてきな発想だと思いました。(仲町中1年)
- ・木や花など植物が少なくなっている、タバコのポイ捨てが多い、ペットボトルや缶などもポイ捨てする人が多い、よく公園に捨ててある。(青木中1年)
- ・自然を守るために木を切らないで！木は二酸化炭素をすってくれるとても大切なものです。(北中1年)
- ・森林がばっさいされて、生き物のすみかが無くなってしまふことが気になります。(芝中1年)
- ・ゴーヤにヘチマ、プチトマト。おうちのまわりはみどりがいっぱい。(青木北小3年)
- ・車をつかわずに、自転車をつかってあそびにいきました。(朝日西小3年)
- ・...広い庭のある家庭は、今少なくなってしまう、せめて街路樹の木立だけでも、夏暑さが抜ける秋が終わるまで切らないでほしいです。木々の枝が切られ可哀そうに思っていました、なれてしまいました。どうか道路の脇の木を切らないで道路を歩く時、涼しく楽しく過ごせるようお願いしてください。(一般)



幸並中2年



戸塚中1年

- ・油を使ったときはその油をそのまま流しに流さないで紙でふいてから洗っている。(岸川中1年)
- ・雨の日、外にバケツなどをおいて、雨水を利用して作物の水やりや家の前で水まきなどに使い、あまり水道水を使わないようにしています。(北中1年)
- ・僕の家では風呂のあまり水を洗濯機に使っています。前にも牛乳パックをまな板に使っていました。どんなことも少しにして節約をしています。(青木中2年)
- ・風呂の残り湯を、庭で育てている花などに使ったり、夏はベランダのコンクリが熱くなっているのでさますのに使っています。(南中1年)
- ・食器を洗うとき、洗剤はほとんど使わず、セルロースを使用した吸水性の高いクロスタイプのスポンジだと油污れにもほとんど洗剤を使わずにすみます！(一般)



南中1年

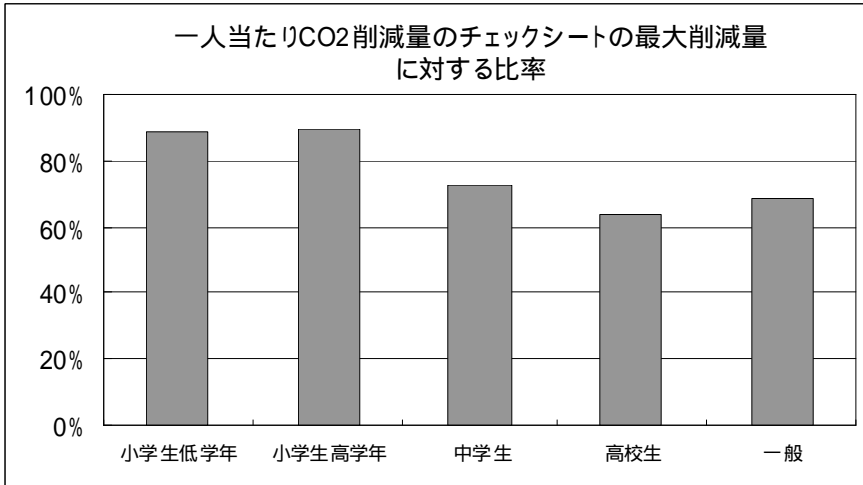
- ・家でも生ごみを出さない日を決め『楽しくエコライフ』をしています。節電、「エコ」などの楽しさ、料理は地物、旬の物を使い『食』からの涼しさ、暖かさを知るきっかけに良いですね。(一般)

ほかにも楽しいコメントやイラストがホームページにのっています。(あなたの作品もあるかも！)

ホームページ <http://www.ne.jp/asahi/eco/ecolife/>

エコライフ DAY サプリング調査について

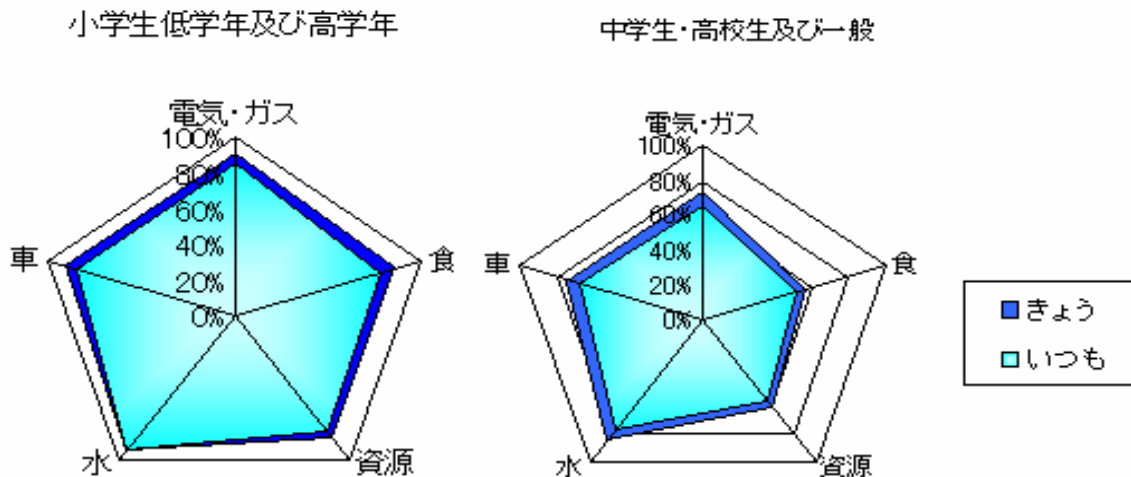
エコライフ DAYの参加者のうち、小学生低学年(1～3年生)、小学生高学年(4～6年生)、中学生、高校生及び一般(市民及び事業所)から各300人ずつをランダムに抽出してCO₂削減量を分析しました。



左の図は、チェックシートの全項目ができた場合の合計CO₂削減量を100%とし、その日削減できたCO₂量を比べたグラフです。小学生低学年と高学年が約90%と高かったのに比べ、中学生・高校生及び一般ではやや低い状況でした。

小学校低学年・高学年及び中学生・高校生・一般の分野別エコライフ DAY実施比率

次に、エコライフ分野別(電気・ガス、食、資源、水、車)の実施状況の比率について、小学生低学年及び高学年のグループと中学生・高校生及び一般のグループとの間で対比してみたものが下の図です。



「小学生低学年及び高学年」では、家族そろって取り組んでおり、全分野を通して高い実施状況でした。「中学生・高校生及び一般」では、計画停電や節電などの影響もあり、電気・ガス、水、車の分野の取り組みはよくできている一方、食や資源の分野では4割弱でした。電気・ガス、水、車に比べ、食や資源はエネルギーとの関連が理解されにくく、エコ活動の一環として広がっていないようです。

全体的にみると、「きょう」が「いつも」より5～6%実施比率が高く、エコライフ DAYの効果が現れています。

今後は、環境学習と環境に配慮した生活スタイルの提案や、食や資源とCO₂との関連性を知らせていきたいと思ひます。

ボランティアのみなさんからの声

“ボランティアスクール”の参加者13人の方、また、市民ボランティアの方に協力していただきました。ありがとうございました。

私がエコしても、まわりの人がエコしなければ意味がないのではないかと、今さらエコなんて遅いんじゃないかと思っていました。でも、エコってすごく大切なんだということを、みんなのコメントなどから学ぶことができました。「東日本大震災」の影響で、計画停電が行われたときには、どれだけ電気が大切だったかよくわかり、今後もエコに取り組んでみようと思いました。(青木中)



活動は、チェックシートの分別と写真をとることとパソコンへの入力です。パソコンへの入力で、市民の皆さんが環境に気を配っていて、多くの方が、エコバック、マイボトル、節電を心がけているのがわかりました。家のルールにしたり、工夫をしている人が数多くいました。これからは、家族や友達、学校にも呼びかけをして頑張りたいと思いました。

(東中)

エコライフDAYは、小学校の時からずっとやっています。そのときは、こんなものを送ってどうするんだろうかと思っていましたが、もしこれが、きちんと二酸化炭素を減らそうと、地球に住んでいる人みんなが思っているのであれば、どれだけ二酸化炭素が減らせるのかなとパソコンを打ちながら思いました。ボランティアをやって、こんなにも時間をかけて仕分けしていているのをはじめて知り、エコライフDAYを見る目が変わりました。(南中)



プレゼントの仕事でした。袋の中に、小学生はえんぴつ、中学生、高校生はマーカーをいれました。マーカーにはそのつめかえのもあって、それがあればインクがなくなってもマーカーを捨てる必要がなく、そういうところは地球には優しいと思いました。私は、見えないところで地球にやさしいものなどが作られているのだとわかりました。私もむだにごみなどを捨てないで、再利用など地球にやさしいことなど考えてみようかと思います。(幸並中)

集計ボランティア

CO₂削減量の集計は、そろばん教室の先生と生徒さんにご協力いただいています。
毎年 ありがとうございます！！

川口珠算協会 会長 水沼 浩 様より

本年もエコライフDAYお疲れ様でした。また、ありがとうございます。

最初は2000年なんですってね。川口珠算協会が集計作業のお手伝いをさせていただいたのは、翌年からだったのでしょうか。ただ計算をしているだけですが、上級生たちは、最後のポジションを受け持つことに誇りをもっております。特技でお役に立てることを喜んでおります。今年は、8万人を超えたとか…。一瞬、ドキッとしますが、51万人までは受け入れ可能です。

来年も「集計お願いします」ではなく、「集計、頼んだぞ！」ってお声をかけてください。

追伸、私ごとですが、私の事務所、今年はクーラー無しで乗り切りました。



環境フォーラム 2011 in かわぐち

川口市の環境の取り組み、市民・企業・学校の実践事例などの発表を行います。

- ・エコライフDAY・チャレンジエコライフなどの結果報告
- ・これからのエネルギーと私たちの暮らし
- ・子どもたちの環境の取り組み

日時:11月19日(土) 10時~12時

会場:フレンジア(川口駅東口キュポ・ラ4F)

主催:川口市・認定NPO法人川口市民環境会議

問合せ先:川口市役所 環境総務課 地球高温化対策係 ☎048-228-5376

~皆様のご参加をお待ちしています~

くわしくは、川口市・NPOのホームページなどでお知らせしますので、ぜひ参加してくださいね



主催者より

川口市役所 環境総務課

東日本大震災は、私たちが経験したこともない大きな災害であり、川口に住んでいる私たちがさえ電力不足などの影響がありました。この震災を機に、原子力発電に移行していこうとしていた日本のエネルギー計画も前倒しで見直されることになり、化石燃料・原子力・自然エネルギー等をどのように活用していくか、二酸化炭素削減という問題も加味し、これから本格的に議論されていく事と思われます。今を生きる私たちが、エネルギーを生み出すことだけでなく、今後の使い方についてもちゃんと考え実践していきましょう。

認定NPO法人川口市民環境会議

今回のエコライフ DAY では、8万人を超えるたくさんの方にご参加いただき、環境のことを考えた生活をみんなで実践することができました。エコライフは、昨今の電力危機や異常気象等の状況下で、私たちの暮らしと地域の安定・発展のためますます重要となっています。エコライフの取り組みの輪が広がっていきますよう、今後ともよろしく願います。

川口市、川口市教育委員会と共催で実施し、川口商工会議所、川口市商店街連合会の後援をいただきました。また、以下の団体の協力をいただきました。

組織単位でとりまとめて参加して下さった団体

青木信用金庫、(株)アライ、(株)イトヨーカドーザ・プライス川口店、医療生協さいたまケアセンターかがやき、エコルシオンエコリサイクルネットワーク、かつば工業(株)、川口鋳物工業協同組合、川口液化ケミカル(株)、川口化学工業(株)川口工場、川口市食生活改善推進員協議会、川口信用金庫、京セラケミカル(株)川口工場、(株)コマーム、サイボー(株)、さしまスローライフ、芝児童センター、芝地区商店会連合会加盟商店会、社協編集委員会、精工化学(株)川口工場、盛人大学、(株)相馬建設工業、(株)そごう川口店、銅鉄商事(株)、(株)トッパンコミュニケーションプロダクツ、(株)マルエツ安行慈林店、(株)マルエツ上青木店、(株)マルエツキュポラ店、(株)マルエツ芝塚原店、三国コカ・コーラボトリング(株)川口支店、矢島鋳工(株)、レンゴー(株)東京工場(50音順)

* 上記の他、各自、公共施設などに提出してご参加いただいた事業所・団体もあります。

その他の協力団体

(株)イーアールシー、(株)飯塚兄弟電機商会、イオンモール(株)イオンモール川口グリーンシティ、イオンリテール(株)イオン川口店、イオンリテール(株)イオン川口前川店、医療生協さいたまケアセンターきょうどう、大富精機(株)、川口環境保全協議会、川口珠算協会、(社)川口青年会議所、(株)川口鍛工所、木風堂、コーエー・エコビジネス(株)、小原歯車工業(株)、(有)三喬電機、(株)菅土木、(株)セブンイレブン川口新井路店、(株)セブンイレブン川口石神店、(株)セブンイレブン川口源左衛門店、(株)セブンイレブン川口東本郷店、(株)東武興産、銅鉄商事(株)、(株)東武産興、戸塚児童センター、DOLCE、那須電機工業(株)、(株)日環サービス、(株)マルエツ安行北谷店、(株)マルエツ西川口東口店、(株)マルエツ東川口店、(株)マルエツ元郷店、(株)マルエツ柳崎店、村上商事(株)、(株)明和工務店、(株)モリチュウ、(株)ヤオコー川口朝日店、(株)リカベル、(50音順)